



# 2022 年臨床漢方薬理研究会大会Ⅱ（第118回例会）

日時・会場

2022年9月4日（日）10時30分～15時  
武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町 11 TEL 075-781-6111

研究会参加費：3000円 学生：無料  
\* 昼食は各自ご持参頂き、廃棄物を持ち帰る袋を用意してください。

参加方法：下記URL、QRコード、事務局にて申し込み受付。  
定員となりましたら申し込みを終了させていただきます。

事務局：上松成人  
（日中夢楽観光株式会社）  
uematsu@yumeraku.jp  
TEL: 090-1900-4714



[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfmu4UaYmAtqdM0O65VIHRwG\\_PM2RxLTAGpIWx9U97mF0Rtg/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfmu4UaYmAtqdM0O65VIHRwG_PM2RxLTAGpIWx9U97mF0Rtg/viewform)

研究会連絡先：臨床漢方薬理研究会代表 日置智津子  
chioki@med.kindai.ac.jp  
近畿大学法人本部社会連携推進センター  
〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

主催 臨床漢方薬理研究会  
共催 日本生薬学会  
後援 京都府女性薬剤師会  
（一社）京都府薬剤師会  
（一社）大阪府薬剤師会  
（公社）日本植物園協会

## 私達の生活「医・食・文化」を支える 植物の生命力

テーマ

プログラム

10時30分～12時30分

### ①「植物生命活動と和漢食・薬理」

日置 智津子 近畿大学法人本部社会連携推進センター

### ②「江戸時代の園芸と食文化」

倉重祐二 公益社団法人日本植物園協会専務理事

13時～15時

### ③「薬用・食養に用いる植物の生態観察」

京都薬用植物園職員の皆様

ご案内

コロナ禍、アフターコロナ、過酷な自然環境、そして否応なく人災による社会環境の変化を経験している、地球の住人である私達。私達は今、蛹が蝶になるような大きな変化（成長）を遂げなければ、幸福な長寿（人生100歳）を迎えられないのではないのでしょうか？

激変する環境に柔軟に対応するには、加齢に負けない代謝力の向上が必要です。そして揺れ動く心と身体の均衡をとる事が大切です。時の流れの中で続く、私達の生命の営みには、植物は欠かせない仲間でした。そしてこれからも。

自然の恩恵を基礎とする東洋医学の科学は、生命の未科学でもあります。俯瞰的に、漢方を学びませんか。